

ほほえみ



ともにほほえむ

仁平きみ子様 今年2月で90歳。右半身に麻痺がありますが時間をかけて左手で書いてくださいました。「娘が庭に花壇を作ってくれたので…」とお花を見に歩行練習に励んでいらっしやいます。

第一回定時総会開催

公益法人として新たな出発!!

一般社団法人神奈川県介護福祉士会会長 野上薫子

公益法人として最初の定時総会を

平成二十一年五月二十三日神奈川県社会福祉会館にて開催し、新年度の出版をすることが出来ました。会員の皆様をはじめ関係団体の方々のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

平成二十一年度は定款に掲げた事業を以下の通り実施致します。(詳細は議案書参照)

一、介護福祉士の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上に関する事業

(一) 介護福祉士資質向上の為の研修(尊厳を支えるケアの実践者育成) 本年度のスキルアップ研修は職場においてリーダーとして活躍する介護福祉士に必須のスーパービジョン研修を行います。

(二) 総合的なキャリアアップを目的とする研修(日本介護福祉士会の生涯研修プログラムに則って実施) ① 初任者研修 ② 介護福祉士ファーストステップ研修 ③ 介護福祉士実習指導者講習会

(三) 職域別研修

(職場に即した実務力の向上)

① 介護支援専門員部会

② 訪問介護員部会

③ 通所施設職員部会

④ 入所施設職員部会

⑤ グループホーム職員部会

⑥ 障がい者介護部会

(四) 地域別研修

(五) 研究会活動



神奈川県保健福祉部地域保健福祉課 人材・街づくり担当 課長代理 金子浩之氏

二、介護福祉に関する調査研究に関する事業

三、介護福祉士教育機関その他関係団体との連携及び協力に関する事業(各団体と連携して事業を進

める事により一層、県民の福祉の増進に寄与)

四、介護福祉の普及啓発に関する事業

(一) 「介護の日」のイベント参加

(二) 介護相談(地域毎に実施)

(三) 介護職110番(電話相談)

(四) ニュース「ほほえみ」の発行

(五) ホームページの充実

(六) 介護福祉士国家試験受験対策

(七) 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策

五、介護福祉士の相互福祉に関する事業(日本介護福祉士会の保険制度、安心三重奏、加入の促進)

六、福祉サービスの質の向上に関する事業(介護福祉の専門職団体の責務として福祉サービスの質の向上に資する為の事業)

(一) 「福祉サービス第三者評価機関一般社団法人神奈川県介護福祉士会」として評価事業の開始

(二) 介護技術指導等の実施

七、その他本会の目的を達成するために必要な事業

① 組織・財政運営の基盤整備

② 公益社団法人の認定を目指す

公益法人の新たな自覚で共々に前進したいと思えます。

記念講演会 暮らしと命をみつめる介護

作家・介護ジャーナリスト・日本介護福祉士会理事

沖藤典子氏

はじめに

介護職は「人生最晩年のもっともつらい時期にいる人に出会う仕事」です。これはホームヘルパーであろうと施設の職員であろうと変わりません。

この仕事に対して「介護福祉士の専門性とは何でしょうか？」皆さんは答えることができませんか言語化できていなければ専門性とは言えません。介護の仕事に専門性が必要か否か、先輩たちが長い時間議論をして、必要であることを証明してきました。私が皆さんにお願いしたいことは各人が哲学を持ち、介護の専門性を言語化して持っていたいただきたいと思えます。

私は、一月まで、国の社会保障審議会介護給付費分科会の委員でしたが、医療と介護の連携という議論のなかで、突然「療養介護士」という新しい職種を作ったかどうか。という案ができました。当然介護福祉士会は反対しましたし、私も新しい職種を作るのには時間を

かけて検討が必要であり、審議の方法論的にもおかしいと反対し立ち消えになりましたが、なぜ、そういう話が出てきたかと云うと、今回の介護保険改正で「看取り加算」という制度ができました。

ところで、私は三十年前「銀の園、父母の群像」という特別養護老人ホームについて本を書いています。その時のお年寄り達は皆、「私はここで死にたい」、「ここであの世にゆきたい」と言っていました。病院に移送されて亡くなっていました。

今回「看取り加算」がついた事により、お年寄りの願がかなって、最後を施設で迎えることもできるようになりました。これは良いことですが、その中で「介護福祉士と看護師、あるいは医師」がどう連携していくか、気をつけないと、介護福祉士は看護師の下請けになる可能性があります。介護福祉士のカリキュラム変更にみられるように医療的な内容が多く入って

ます。それで介護福祉士は良いのですか。なぜ「介護士」と言わないうで「介護福祉士」というのでしょうか。

私は介護福祉士制度ができたときの原点に立ち戻った議論が必要だと思えます。

介護保険法第一条目的「……必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る……」とあります。だから医療と看護の連携といった時に「介護福祉士とは」こうなんですと言語化して医療職と向き合う哲学を持っていないといけない。でない、ああやらない、こうやりなさいと医療的指示のもとで、はしり回る人になってしまふ。皆様の職業的誇り、プライド、将来性などはどのように守られていくのでしょうか。

私もいろいろな特別養護老人ホームに伺わせていただきますが、市民サイドの人間ですから見方が厳しいのです。皆様のお仕事に対して同じです。主に力点を置いてみるのが、お風呂・おむつ・食器・お箸です。

「個人ケア」といいますが、食器はセラミック、お箸はラーメン屋の竹箸、私は施設長に言うんで

す。家にいけば、おばあちゃんのお椀・パパのお椀・ママのお椀、みんなのお箸、みんなそれぞれのパーソナル要素ですと。



「ユニットケア」と言いますが中央調理室で作って配膳するだけではチヨットさみしい、せめてご飯ぐらいいは炊けないかしらと思えます。一日三回誰が使ったかわからないお茶碗・お箸で食事させて、「個別ケア」といわないで欲しい。

また、個別ケアを標語するユニットケアでは天井から幼稚園の輪飾りみたいなのがヒラヒラ下がっている、センスとかエスプリがない、哲学がないと思えます。

介護保険も十年になり制度的な整備状況もさることながら、負担

はどんどん高くなってきています。それに見合う内容をどうとらえるか、利用者の目がますます厳しくなります。質が問われる時代になってきています。介護職員のキャリアアップが何故出来ないのか？介護福祉士会の行った調査によると「経営者が人材育成にお金をかけない」「上司の無理解」「管理職登用への道がない」等ですが、介護福祉士が「これこそが自分の誇りである」というものを職業の中に確立していったほしいと思います。(文貴 平野)

講演のレジュメ

1、介護保険サービスは家族の代替えなのか

- ① 介護サービス削減の根底にあるもの(とくに訪問系)
- * 消えない “家族介護讚美” : どうして家族がしないのか?
- * 家族同居者へのパッシング : 家族はくせもの?
- ② 施設介護の現場への職員の仕事
- * 入口は「働きがい」、出口は「待遇と人間関係」 : 人件費は人権費

* 雇用管理 : 配置基準、夜勤の不安、施設長資格問題、鉄の天井非常勤問題 (特に訪問介護・サービス提供責任者)

2、09年改正の主なポイント

② 施設介護 : 専門性への評価・定着促進 (介護福祉士資格比率、常勤比率・勤続年数)

③ 訪問介護 : 介護福祉士資格のみ、利用者・介護サービス事業者ともに悩み探し

3、09年改正のおもな問題点 : 利用者の視点から

- ④ 加算がおおくなり、保険システムの全体像が見えなくなつた。
- * 利用者には理解できない。
- ② 基本報酬のアップはない
- * 利用上限額のアップもない : 利用量アップと利用量の制限
- ③ 居宅介護支援専門員は、要介護度別で良いのか
- * 一律単価にならなかった
- ④ 認定の軽度傾斜、同居家族の運営基準、空きベットのある特養入所の困難
- * この三つは受給権の侵害ではないのか

4、今後のおもな課題

① 高齢者増の中で、軽度者を介護保険からはずすのではないのか。その場合の財源とシステムは?

⑤ 在宅高齢者の暮らしと命をどう守るの : 訪問介護者の高齢化と在宅高齢者の重度化

⑥ 利用者の重度化のなかで、介護

職の医療行為をどうするのか。
⑦ 介護人材の確保をどうする : 集まらない人材、増え続ける要介護者、介護保険は人材確保から崩壊するのではないか

最後に : 「財源」とは政治の意志。介護の社会的評価を高めよう!!

記念講演会を受講して

“暮らしと生命をみつめる介護”とは

横須賀三浦地区代議員 小石川明子

先生の歯切れの良い言葉から講演は始まりました。開口一番は、介護福祉士をどのように説明できますか。自分の言葉で伝えることができますか。各自、哲学の心をもって、誇り、プライド、将来をみつめ、介護を行ってもらいたい。介護と看護の違いを把握していかなければ介護人は看護の下請け人になってしまう。との話であった。その時自分は、哲学の心って何。と自問自答していた。

介護・医療・看護と平行したなかに在宅の可能性・施設内の人間としての尊敬が遂行されていくものと考え、祈ってきたつもりで、まだひとりよがりなのかも知れないと。09の改正が行われ、何が良くなったのか、利用者のみならず従事者である自分も良く分からない現状がある。認定調査の軽度化の心配から認定結果の合不の通知が必要、独居生活者への住民票での確認、ヘルプ業務の制限、利用量がアップしたため利用量を減らさざるを得なくなった、など。サービスの充実からかけ離れているように感じられる。要支援者は何のサービスが受けられるのだろう。

介護従事者(職員)のスキルアップは必要であり教育を受ける機会を損ねてもらいたいと思う。経営者の理解が職場定着につながっていくのではないかと考えている。又介護従事者(自分を含め)も自立できるようあらゆることに挑戦していく心構えが必要なのかもしれない。講演の中で家族介護讚美、パッシングなどはしてはいるが、辛くても我慢できるが、他人方の批判には絶えられない、と嘆いている。介護の重圧から自殺が出ないように自分の行動に責任を持つよう努めなければならぬと思った。



会長 野上薫子

- ・ 組織部会
- ・ 資格取得支援部会
(資格取得関係事業/受験対策事業)

本年度は公益法人としての組織を一層盤石にする為、公益社団法人の認定を目指して、組織・事務局及び財政等の基盤整備を行います。

一般社団法人神奈川県介護福祉士会

役員紹介



副会長 三ヶ島靖子

- ・ 組織部会
- ・ 受託事業

各種事業所主催の介護技術講習受託が主な事業です。本年度も織田福祉専門学校の介護技術講習会、神奈川県高齢者福祉施設協議会の介護職員実技研修会等、昨年度受託した事業の依頼が来ています。



副会長 炭竈美枝

- ・ 研修部会

10月10日に『認知症の人とのコミュニケーション』(仮題)中村

裕子仙台白百合女子大学教授のセミナーを予定。理学療法士による『介護技術研修』、スキルアップ研修はシリーズで『スパービジョン研修』を開催。

・ 職域部会 (通所施設職員部会)
デイサービスの職員として、ケアの質を高めるための研修や情報交換を企画したい。自立支援の取り組みやアクティビティプログラムなどご要望をお寄せください。



副会長 平野浩子

- ・ 広報部会

いかに読んでいただけるか思考中。ご意見募集。「介護110番」、毎日電話で受付中。

即返事できることもあれば後日になることもあります。「ホームページ管理」。研修のお知らせ等見やすい様に心がけます。「介護の日」普及事業。今年も皆様の協力をお願いします。



理事 梅田 滋

- ・ 職域部会
(介護支援専門員部会)

介護保険の現場は、この4月に報酬改訂や要介護認定の変更が行われ、仕組みが益々複雑になり、大きな混乱を招いています。介護支援専門部会では、ケアマネージャーの皆様の実務に少しでも役立つ内容の研修会を企画できたらと思っています。ご意見、ご要望をお聞かせ下さい。



理事 浦野直子

- ・ ケアマネジメント研究会
- ・ 職域部会
(入所施設職員部会)

介護はチームワークが求められますが、チームといっても介護職員だけのチームもあります。そういう環境の中で仕事をする仲間同士、困りごとを少しでも解決していただきたいと思います。入所施設に携わる介護福祉士ならではの、議論、学習の場にしていきましょう。



理事 中嶋春子

- ・ 職域部会
(訪問介護員部会)

現場で働く私達の“専門性”は基本中の基本ですが「利用者の今」を真摯に受け止めながら現状に沿った前向きな研修を企画・実施に努力します。



理事 田口久美子

- ・第三者評価研究会
- ・福祉サービス第三者評価事業

平成 21 年 3 月に「福祉サービス第三者評価機関 一般社団法人神奈川県介護福祉士会」として認証され、今年度から福祉サービス第三者評価事業を行うことになりました。評価実施対象は、以下の 2 分野を行います。・1 高齢（介護老人福祉施設・介護老人保健施設）・障害（自立支援法にもとづく福祉サービス）分野・2 児童（保育所）分野

調査員はすべて会員であり、介護の専門職として、客観的で公平性を持った調査を行っていきます。今年度は機関の充実を図りでも多くの評価を行いたいと思います。会員の皆様の中で、調査員の資格をお持ちの方は、ぜひご協力下さい。また、まだ資格をお持ちではない方で、関心のある方はご相談下さい。



理事 石黒尚之

- ・職域部会
(グループホーム職員部会)

認知症の理解や地域密着型サービスの在り方など、研修を通して皆さんと一緒に学びたいと思います。研修は 11 月下旬を予定しております。よろしくお願ひ致します。



理事 斉藤美貴

- ・介護技術研究会

新年度の事業としては、「介護技術の研究及び普及」との大きなテーマの中で、介護現場における重介護状態の利用者の生活を支える、安全・安楽で、自立を支援し、個人の尊厳を尊重したケアについて、具体的に整理し、技術の根拠を明確に解説できるように研究していきます。



理事 丸山タエ子

- ・職域部会
(障がい者介護部会)
- ・地域部会 (統括)

八つの地域部会が、それぞれの課題や情報を持ち寄り検討しながら、よりよい活動に繋がればと考えます。また、障害者支援に携わっている皆さんとの情報交換やスキルアップの場を担当します。たくさんの仲間と活動ができればと思います。ご協力をお願いします。



理事 黒坂糸子

- ・地域部会 (横浜地区)

今年度は好評のキヌステイクの研修を 2 回、精神障害者への対人援助についての研修会を 1 回予定しています。日程調整後、皆様にお知らせいたします。



理事 坂井英明

- ・地域部会 (川崎地区)

地域部会では介護について学習したり職場の悩みについて相談しあったりできる場を会員の皆様と一緒に作っていきたくと考えています。皆様よろしくお願ひいたします



理事 久米田敬子

- ・地域部会
(横須賀三浦地区)

介護福祉士としての知識と技術をしっかりと身につける。また、一人で悩んでないで、誰かと相談できるということで、横須賀三浦地区では、今年度は職場を離れて会員の皆様と親睦の場、勉強の場として行っていきたくと考えています。



理事 滝波順子

- ・地域部会 (県央地区)

介護福祉士に求められるものとして、介護を必要とする利用者に自分らしく尊厳を持って生きられるように社会的に支援する事となっています。いまだ介護従事者に対する社会の目は厳しいものがあります。その為にも地区単位で問題を出し合い、介護従事者に必要なものは何かを話し合うことから始めたいと思っています。



理事 熊谷真理子
・地域部会 (湘南東地区)

会員みんなで協力して、共に学び自己研鑽していきましょう、また介護現場の楽しさや大変さを共有し合える仲間づくりをしていきましょう。研修会及び会合には、お会いできる日を楽しみにしていますので、是非参加してください。ご協力をお願いします。



理事 井上康子
・地域部会 (湘南西地区)

今年度は介護の原点に戻り技術面の向上、知識面からも多くの情報を取り入れ磨きをかけていきたいと考えています。

今までになく親睦会も行っていきたいと思っています。韓国留学生によるキムチ作り 11 月予定 (お正月に食卓でいただけるように作りたい) を考えています。



理事 袴田はる江
・地域部会 (県西地区)

平成 20 年度研修時に、参加した会員さんより、「介護技術研修・施設見学等を計画して欲しい」と声がありました。今年度は会員さんへの周知方法を考え、ちょっぴり楽しいことも計画に入れ、一年間すすめていきたいと思っています。



理事 阿部良子
・地域部会 (相模原地区)

相模原地区の活動拠点は、主に和泉福祉専門学校で、講習や実技を行うには大変恵

まれた環境にあります。会員の皆様が積極的に参加出来る内容を提供する為に、他の地域とも情報交換をし、同じ地区で共に働く会員の皆様と活動を通じて交流を深めていきたいと思っています。



監事 田島セイ子

会発足当初より、会員として種々の活動・研修等を通じて多くの方と出会い、また、介護福祉士として貴重なこと

を学び得たことに大変感謝しています“老化”を感じるこの頃。しかし日々脳トレに励み、その成果あって数字には強いと自画自賛！皆様の大切な会費等の監査業務を責任持って行っていきたいと思っています。



監事 杉崎チヅ子

介護福祉士の役員に、何も分からないまま名を連ねることになってしまい自分でも驚いています。組織の内容もわからないので、できるだけ参加し、把握していこうと思っています。

関東甲信越ブロック会議開催

平成二十一年五月三十一日東京 亀戸のカメリアプラザにて日本介護福祉士会関東甲信越ブロック会議が各県の会長はじめ役員が出席して開催されました。

一、関東甲信越ブロック研修会 開催県(千葉県)より進捗状況の報告がありました。開催要綱は六月に配布済です。

今回は横浜地区の斎藤美貴理事が事例発表をします。神奈川県介護福祉士会ではバスをチャーターして参加者の交通費の援助を致しますので、ぜひ御参加ください。

二、日本介護学会 今年度は十月三十一日長野県佐久市で開催されます。秋の一日を是非佐久市へとPRされました。

三、組織強化 各県の会員確保の取組み状況等意見交換しました。



研修会予定

研修名(場所)／実施日程 (予定)		研修名(場所)／実施日程 (予定)	
スキルアップ(スーパービジョン)研修 (神奈川県社会福祉会館)		介護福祉士国家試験受験対策 (ウイング 横浜)	
	①8/30②9/13③10/22	準備講習会	①10/5②10/12③10/27④11/4⑤11/16
ファーストステップ研修 (ウイング 横浜)		全国模試	12/6
領域 I	①7/12②7/26③8/15④9/6⑤9/23	実技講習会	2/7
領域 II	①10/3②10/17③11/3	地域部会	
領域 III	①11/27②12/13③12/26④1/19⑤2/7⑥2/21	横浜	8/30・11月・1月
初任者研修会 (ウイング 横浜)		川崎	7/21・9月・11月・1月・3月
	①7/22②7/25③7/26	横須賀三浦	7/26・9/27・11月・2月
介護福祉士実習指導者講習会 (ウイング 横浜)		湘南東	8/8・10月・2月
(第 I 期)	①8/10②8/14③8/19④8/24	湘南西	11/29 認知症研修会 10月・11月・12月
(第 II 期)	①10/21②11/2③11/7④11/9	県西	10月・2月・10月 (介護相談)
介護支援専門員実務研修受講試験受験対策 (ウイング 横浜)		相模原	11/14・3月・9月 (介護相談)
準備講習会	①8/8②8/9③8/22	日本介護福祉士会主催	
全国模試	9/13	関東甲信越ブロック研修会 (千葉県)	9/25・26
介護支援専門員研修会 (ウイング 横浜)	8/29	日本介護学会 (長野県)	10/31
公開セミナー 認知症の人とのコミュニケーション(仮題) (ウイング 横浜)	10/10	全国大会 (大阪府)	12/4・5

～皆様のご参加をお待ちしています～

公開政策討論会

「介護保険の未来を語る！」

平成二十一年五月十三日 十八時三十分～ 永田町「星陵会館」
主催：介護保険を持続・発展させる1000万人の輪

神奈川県介護福祉士会からは、

会長・副会長はじめ、(日本介護

福祉士会からの参加要請に従い)

数名の理事が出席した。

主催者から事前に各政党に「介

護保険に係る公開質問」を行い、そ

れに沿って各政党からの回答があ

った。

総論的質問

マニフェストで、「介護保険制度」は独立した項目としてとり扱いますか。

① 各党の「介護ビジョン」

② 財源に関して

③ 介護認定基準について

自由民主党・公明党・民主党・日本共産党・社会民主党・国民新党から代表者が意見発表した。

普段 政党の代表者などから話しを聞く機会がなかったため、大変良い機会になり各政党の福祉に関するビジョンも聞け、特に解散選挙前の時期に照らし合わせ各政党、特に民主党の代表の熱のこも

った話しが面白かった。

各論的質問

①介護度の7段階について、複雑

な加算について

②介護認定の在り方について

③介護保険を運営して行く上での

国と自治体、自治体と市民の役割

分担について

④報酬の見直しで、良質な人材の

確保と介護職の地位向上が達成

できるか。介護人材確保につい

て。

タイミング良く、認定調査の方法について、自治体も混乱した時期であったので、各党がどんなことを考えているのか、理解できた。

(平野)



お知らせ

会員募集

介護福祉士有資格者の皆様へ

- 本会は
専門職業人としての社会的地位及び資質の向上と県民の介護福祉の増進に努めます。
- 会員になると
 - 各種研修会に会員価格で優先的に受講が可能です。介護技術や福祉の最新情報を提供します。
 - (社)日本介護福祉士会生涯研修制度の認証が受けられます。
 - 福利厚生各種特典があります。

お問合わせは事務局まで

(045-311-8776)

推薦図書



「在宅日誌」

出版 薬事日報社 2,520円

利用者さんが普段服薬している薬の効用を知っていますか？医師はどんな症状で薬をだすのか？ペルパーさんや、ケアマネージャさんに知ってもらいたいというのが筆者（薬剤師、ケアマネージャ）の気持ちです。

介護職 110 番

介護職員としての悩みや相談、ご意見等をお受けいたします。電話・FAX・Eメールにてお気軽に相談下さい。

相談受付：月曜日～金曜日
9:00～17:00

相談員：神奈川県介護福祉士会役員

TEL：045-317-5966

FAX：045-317-5930

メールアドレス：info@kanagawa-accw.org

ホームページ：http://www.kanagawa-accw.org

編集後記

今期も機関紙「ほほえみ」を中嶋さんと星さんの絶大な支援のもと発刊して行きます。

初めて役員さんの写真を掲載しました。意図とするところは、役割分担と責任を自覚していただくためです。地域の役員さんの顔を覚えてください。

研修などのニュースだけでなく、皆様のホットな情報も掲載したと思っています。

(平野)

広報委員

平野 浩子

中嶋 春子

星 幸枝

ほほえみ 三十一号

発行

一般社団法人

神奈川県介護福祉士会

会長 野上 薫子

横浜市神奈川区沢渡四一二

県社会福祉会館内

電話 045(311)8776

FAX 045(317)5930

E-mail: info@kanagawa-accw.org

印刷

有限会社 金港堂

電話 045(322)0234